

II 主催事業

〔7〕「自然観察とネイチャークラフト」



1. ねらい

自然観察とクラフトを通して、「人と人」、「人と自然」を結び、自然愛護の気持ちを育てる。

2. 実施日

8月10日（月）

3. 対象者

家族・グループ・一般

4. 募集定員／応募人数／参加人数

30人／133人／25人

5. 「自然観察とネイチャークラフト」のスケジュール

10:00	開会式
10:15	自然観察
12:00	昼食
13:00	ネイチャークラフト
14:30	閉会式

自然観察

暑い日の開催となったため、プレイホールで開会式を行った。所員や講師、補助員の紹介を行った後、日程説明を担当から行った。講師からは、自然観察で見たい内容や、五感を使って感じてほしい内容の説明を行い、ビンゴの表に書き入れて確認した。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年の自然観察は3班に分かれて実施した。参加者は、はやまの森の中を巡り、植物や昆虫を見つけたり、虫の巣やキノコ等を発見したり、植物を食したり、自然物で遊んでみたり、各講師から説明を受けながら、はやまの森を満喫した。



ネイチャークラフト

午後からは、センターにある森のめぐみ（自然素材）を使い、想像力をフルに働かせ、ネイチャークラフトを楽しんだ。



参加者はどんな作品にするのか想像し、それに合う木の実や木の枝を採ってきては、リョウブの台座の上に置いてみて思案し、納得がいったらグルーガンでくっつけた。

「自分の思い通りにできた」と、所員や補助員に見せに来てくれる子、「どうしたら良いのか」と母親と一緒に考え知恵を振り絞る家族、「子どもは放っておいて、自分の作品を作り上げよう」と必死で頑張る母、家族によって楽しみ方は違うけれども、家族の絆を深めた。

6. まとめ

例年より日程を早め、盆前に開催したところ、多数の応募をいただいた。新型コロナウイルス感染拡大で自粛を迫られる中、多くの人が外で活動することを望んでいることを感じた。暑い中での開催であったが、参加者はセンターの中を歩き回り、昼からも頭を使って精一杯活動した。